

千葉大学医学部附属病院で透析などの治療を受けた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026年3月12日

薬剤部

薬剤部では、透析装置などへのサイトカイン吸着に関する研究を行っており、以下に示す方の試料や診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に試料・情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2026年4月1日～2030年3月31日の間に救急科に入院し、体外循環装置による治療を受けた方

1. 研究課題名

「重症患者における体外循環装置施行時の炎症性サイトカイン除去動態の定量評価と吸着規定因子の探索」

2. 研究期間

2026年承認日～2030年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

重い感染症や敗血症などでは、体の中で「サイトカイン」という炎症に関係する物質が増え、血圧低下や臓器の不調につながる場合があります。人工透析や人工肺などの体外循環装置は、治療の一部として血液を体の外に通して処理します。このとき、サイトカインが装置やフィルターに“くっついて（吸着して）”減ることがあります。この研究の目的は、「体外循環装置の治療中に、サイトカインがどのくらい減るのか」、「どの装置・どんな条件でよく減るのか」、「併用しているお薬などが、サイトカインの吸着（くっつくこと）に影響する可能性があるか」を、血液や排液（装置から出る液体）を使って調べることです。この研究では「重症患者における体外循環時薬物動態の多層的解析

と新規投与設計モデルの開発」という研究で同意が得られた方において採取された血液（検査で使った後に余った部分）や排液と、カルテに記録された年齢・性別・検査値・お薬の種類や量・飲み方（投与方法）などを使います。この研究では、新しく採血したり、追加の検査をお願いしたりすることはありません。個人がわかる情報（お名前、カルテ番号、生年月日など）は病院内で削除し、研究用の番号（研究 ID）に置き換えてから解析します。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

「重症患者における体外循環時薬物動態の多層的解析と新規投与設計モデルの開発」という研究で同意が得られた方の血液、排液より各 1ml を本研究で利用します。新しく採血をお願いすることはありません。また、診療録に記載されている身長、体重、病歴、血液検査値、お薬の情報などを確認させていただきます。

5. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：薬剤部 教授・薬剤部長 石井 伊都子

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた試料・情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学大学院薬学研究院において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、研究結果について当該機関の研究者等の判断の下、原則、研究対象者に開示します。また、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に試料・情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出

ださい。試料・情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

千葉大学大学院薬学研究院 教授 山崎伸吾

043（222）7171 内線 71770